

授業科目名 (英文名)	Reading and Discussion 2 英語 R D 2 (S 3)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	石倉 和佳	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 様々な社会活動の場面において必要となる英語文を読んで理解することができる 2) 上記の英語文についての分析や意見を表現することができる 3) 読解のためのスキルや背景知識の利用方法を習得している		
講義内容・授業計画	授業では英文で書かれた内容について理解し、自分でまとめて意見を表現することができるように、英文読解のための基本的文法事項、文の構造、語彙、慣用句などを学習する。また、英文のパラグラフ構造を学習し、スキミング、スキミング、背景知識の利用など読解のためのスキルを習得する。毎回の課題をこなし、予習復習をおこない、積極的に授業に参加することが求められる。 授業進行は下記の通り。 1 Global Perspectives 2 Climate Change 3 Water 4 Clean Energy 5 Poverty 6 Hunger 7 Children 8 Gender 9 Refugees 10 Insects 11 Vegetarianism 12 Plastic Waste 13 Shopping 14 Partnership 15 Review		
テキスト	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals 地球市民として生きる：英語で学ぶSDG s 実践入門 Kazuya Ozeki Kevin M. McManus 南雲堂		
参考文献			
成績評価の基準・方法	様々な社会活動において必要となる英語文を読んで理解し、その内容の分析や内容に対する意見を表現することができるものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。 レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	必ず辞書類を持参すること。 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない。		
備考			